

科目名 Course Name		開講年次	開講学期	曜日・時限
キャリア教育IV (介護福祉)		2年	後期	別途、時間割参照
Career Education IV				
単位数	授業の形態	授業の性格		履修上の制限
1単位	演習	必修		特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目				
なし。				
同時に履修しておくことが望まれる科目				
なし。				
担当に関する情報				
氏名	研究室の場所	オフィスアワー		電話番号・メールアドレス
(主) 松崎勇人、全専任教員 (クラス担任)	授業中に指示します	授業中に指示します		授業中に指示します
授業の概要				
講義の内容は、第1に、就職し社会人となってから役立つ様な基礎的知識や態度を身につけること、第2に、自己を生かす職業に就くために必要になる知識や技術や望ましい態度等を学ぶことから成る。				
授業の目標				
①より良い進路実現へ向けて課題を見出し、解決へ向けて努力できるようにする。 ②職業に関わる価値観や役割や責任を理解し、就業に向け心構えを作れるようにする。 ③自分がどのような職業に興味があり、向いているのかを具体的に考えられるようにする。 ④相手の伝えたいことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。				
授業の方法				
基本的に講義形式で行うが、各クラスで個別ワークやグループワークも取り入れる。グループワークでは先生や仲間と積極的に関わるようにし、課題についてはキャリア形成や職場での問題解決のために必要なことなので、自己を振り返る機会を持ち、気付いたことを文章で表現するよう心掛けるようにして欲しい。さらに、クラス担任による進路面談等を行い学生の職業に関わっての自己実現を支援する。				
学習の成果 (学習成果)				
①自分の職業生活を設計できる。 ②職業生活に関わる大切なことを認識し実践できる。 ③自己の職業への適性を知り、能力を高めることができる。 ④他者より良くコミュニケーションできる。 ⑤職場環境に適応し、そこでの問題を解決するための活路が見出せる。 以上により、就職活動をして進路を実現し、職場での基本的な問題の解決ができる。				
授業のスケジュールと内容				
第1回目	オリエンテーション シラバスと評価の仕方について (松崎) 必修科目・取得単位数確認し履修指導 (フィールド: 60分) 9/25			
第2回目	フィールド別ガイダンス 将来を見据えた進路の意識づけ (新井) (フィールド:90分) 10/2			
第3回目	時間の管理と手帳活用術 (大室) 「時間の管理と手帳活用術」の講義を受けての感想文【課題①】 (フィールド: 45分) 10/9			
第4回目	職場でのコミュニケーションの取り方、人との付き合い方2 (秋山) 講義を受けての感想文「コミュニケーション時に注意していること」【課題②】 (フィールド: 45分) 10/16			
第5回目	金銭の管理 (國分) 講義を受けての感想文「これからの金銭管理をどのようにしていくか」【課題③】 (フィールド: 45分) 10/23			
第6回目	業界研究; 卒業生によるキャリア講演会 施設職員 (司会: 大熊) 10/30			

第7回目	租税について (外部講師) 「租税」の講義を受けての感想文「講義を聴いて学んだこと、これからに生かしていきたいこと」【課題④】 (フィールド: 45分) 11/6		
第8回目	フィールド別ガイダンス 事例研究のまとめ (和田) (フィールド: 90分) 11/13		
第9回目	フィールド別ガイダンス 事例研究のまとめ (和田) (フィールド: 90分) 11/20		
第10回目	健康管理と余暇の過ごし方1 (徳積) 共通試験対策 (新井・久保) (フィールド: 45分) 11/27		
第11回目	健康管理と余暇の過ごし方2 (徳積) 講義を受けての感想文「私の健康管理、余暇の過ごし方」【課題⑤】 (フィールド: 45分) 12/6		
第12回目	労働者の生活を守る制度、労働基準法や各種保険 (山田) 「労働者の生活を守る制度…」の講義の感想文「講義を聴いて学んだこと、これからに生かしていきたいこと」【課題⑥】 (フィールド: 45分) 12/11		
第13回目	自己啓発 (國分) 講義を受けての感想文「自己啓発をどのようにしていったらいいか」【課題⑦】 (フィールド: 45分) 1/8		
第14回目	フィールド別ガイダンス 共通試験対策 (新井・久保) (フィールド: 90分) 1/15		
第15回目	まとめ (松崎) 共通試験対策 (フィールド: 45分) 1/22		
成績評価の方法と基準			
評価の領域		割合	評価の基準
授業参加態度		30%	最高水準としては、講義者の話を集中して聞き、質問に主体的に答えられること、与えられたテーマについて仲間の意見を聞き、自分の考えを述べられるなどである。
レポート		70%	10点満点の課題を7つ提出すること。10点=各設問に対し適切に答えている、自由記述の場合は適切な内容を解答欄に8割以上記入している。未記入や誤答は減点。0点=未提出や白紙。〆切を過ぎたら減点する。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容 (態度含む)			
その他			
教科書と参考図書			
『就職活動ガイドブック』 (非売品のため購入する必要はない。) 『大学生のためのキャリアガイドブック』。参考書は講義中に適宜指示する。			
履修上の留意点・ルール			
積極的に参加し、進路の実現へ向け行動し反省し修正すること。マナーを守り、自分で考え、フィールド毎の課題を必ず提出すること。欠席した場合は学生支援課で共通の講義資料を受け取る。各回のカッコの中の時間は、フィールド別の指導時間を意味する。課題の提出〆切はクラス指導の場で示す。			